

浜の活力再生プラン  
(第2期)

## 1 地域水産業再生委員会 (ID: 1102009)

組織名	十三地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 工藤 伍郎

再生委員会の構成員	十三漁業協同組合、五所川原市経済部農林水産課水産室、青森県西北地域県民局地域農林水産部鱈ヶ沢水産事務所
オブザーバー	

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	(地域の範囲): 五所川原市十三地域 (漁業の種類): シジミ操業20名
-----------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>五所川原市十三地区にある十三湖は、周囲約30km、最大水深約3.0mの汽水湖で、昔からシジミ漁が行われていた。平成に入り国民の健康意識が向上したことや販売方法を相対から漁連の共販に変えたことで大幅に単価が向上し収入が安定したことにより、地域の基幹産業として定着してきた。また、国内の他地域のシジミ漁業が、水質や生息環境の悪化により衰退している中、当湖では、漁獲制限等の資源管理に努め、持続的な生産活動に努めてきたほか、「マリン・エコラベル」の認証や「十三湖産大和しじみ」の地理的表示の登録などブランド化に取り組むことで、単価向上を図ってきた。しかし、近年、新たな脅威として安価な外国産シジミの輸入増加による単価の下落、燃油等の漁業コストの高騰により、価格が不安定となったことから、安定した価格水準を取り戻し、維持することが急務となっている。</p>
---

## (2) その他の関連する現状等

<p>漁業所得の安定を図るため、安定価格で販売できる冷凍シジミ等の商品開発・製造販売体制の構築を図ることが急務となっている。</p>
--

## 3 活性化の取組方針

## (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

- ①シジミの価格安定と漁期以外の所得の確保に向けた冷凍シジミの製造・販売の体制強化。
- ②水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、「マリン・エコラベル・ジャパン」(MEL) 認証や「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、シジミの資源管理強化、ブランド強化及び販路拡大に努める。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

十三湖のシジミ漁業は、シジミ資源を持続可能な範囲で利用するため、資源管理(漁期・漁場・操業者・漁獲量・漁具・漁法の制限)、(地独)青森県産業技術センター内水面研究所(以下「県内水面研究所」)・西北地域県民局地域農林水産部鱒ヶ沢水産事務所(以下「県鱒ヶ沢水産事務所」)と行う調査(シジミ資源量調査、シジミラーバ調査、水質・底質調査)、十三湖の環境保全活動(シジミ漁業者による植林、漁場耕耘作業、湖底清掃)を行っている。また、資源管理の内容が評価され、MELの認証(平成21年認証)を受けている。

(4) 具体的な取組内容(毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目(平成31年) 「所得2%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・消費者ニーズの把握に努めつつ荷受業者等の意向を確認の上、冷凍シジミを年間60トン以上製造・販売することを目指す。また、全国規模のPR・販売イベントへ参加し、販路拡大を図る。</li><li>・「冷凍シジミ」の品質を向上させるための講習会を開催し、シジミの死貝、空貝についての選別訓練を実施することで、選別技術の向上を図る。また、金属探知機やX線装置を活用し、異物混入のない「冷凍シジミ」の選別作業の効率化に努める。</li><li>・水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、MELや「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、より一層シジミの資源管理、ブランド強化及び販路拡大に努める。</li><li>・シジミ漁業者は県内水面研究所や県鱒ヶ沢水産事務所の協力を得て、十三</li></ul>
--------------	---

	<p>湖のシジミ資源量調査や水質・底質調査、シジミラーバ調査を実施する。また、その結果を用いて、シジミの漁獲量を調整することにより適切な資源管理に努める。・漁業者と十三漁協による湖底耕耘作業や湖底清掃を実施し、湖内の環境保全に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客向けにシジミ漁体験を実施し、「十三湖産大和しじみ」の販売促進に努める。</li> <li>・販売促進のため県内外のスーパーや生協での試食販売に積極的に参加し、東京都や新潟市、仙台市等への販路拡大を目指す。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	第1期浜プランに引き続き、船底清掃や1ノットの減速航行を実施して燃油等の削減を目指す。
活用する支援措置等	

2年目（平成32年） 「所得4%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの把握に努めつつ荷受業者等の意向を確認の上、冷凍シジミを年間70トン以上製造・販売することを目指す。また、全国規模のPR・販売イベントへ参加し、販路拡大を図る。</li> <li>・「冷凍シジミ」の品質を向上させるための講習会を開催し、シジミの死貝、空貝についての選別訓練を実施することで、選別技術の向上を図る。また、金属探知機やX線装置を活用し、異物混入のない「冷凍シジミ」の選別作業の効率化に努める。</li> <li>・水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、MELや「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、より一層のシジミの資源管理、ブランド強化及び販路拡大に努める。</li> <li>・シジミ漁業者は県内水面研究所や県鮭ヶ沢水産事務所の協力を得て、十三湖のシジミ資源量調査や水質・底質調査、シジミラーバ調査を実施する。また、その結果を用いて、シジミの漁獲量を調整することにより適切な資源管理に努める。</li> <li>・漁業者と十三漁協による湖底耕耘作業や湖底清掃を実施し、湖内の環境保全に努める。</li> <li>・観光客向けにシジミ漁体験を実施し、「十三湖産大和しじみ」の販売促進に努める。</li> <li>・販売促進のため県内外のスーパーや生協での試食販売に積極的に参加し、東京都や新潟市、仙台市等への販路拡大を目指す。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	第1期浜プランに引き続き、船底清掃や1ノットの減速航行を実施して燃油等の削減を目指す。

活用する支援措置等	
-----------	--

3年目（平成33年） 「所得6%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの把握に努めつつ荷受業者等の意向を確認の上、冷凍シジミを年間80トン以上製造・販売することを目指す。また、全国規模のPR・販売イベントへ参加し、販路拡大を図る。</li> <li>・「冷凍シジミ」の品質を向上させるための講習会を開催し、シジミの死貝、空貝についての選別訓練を実施することで、選別技術の向上を図る。また、金属探知機やX線装置を活用し、異物混入のない「冷凍シジミ」の選別作業の効率化に努める。</li> <li>・水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、MELや「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、より一層のシジミの資源管理、ブランド強化及び販路拡大に努める。</li> <li>・シジミ漁業者は県内水面研究所や県鯉ヶ沢水産事務所の協力を得て、十三湖のシジミ資源量調査や水質・底質調査、シジミラバ調査を実施する。また、その結果を用いて、シジミの漁獲量を調整することにより適切な資源管理に努める。</li> <li>・漁業者と十三漁協による湖底耕耘作業や湖底清掃を実施し、湖内の環境保全に努める。</li> <li>・観光客向けにシジミ漁体験を実施し、「十三湖産大和しじみ」の販売促進に努める。</li> <li>・販売促進のため県内外のスーパーや生協での試食販売に積極的に参加し、東京都や新潟市、仙台市等への販路拡大を目指す。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	第1期浜プランに引き続き、船底清掃や1ノットの減速航行を実施して燃油等の削減を目指す。
活用する支援措置等	

4年目（平成34年） 「所得8%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの把握に努めつつ荷受業者等の意向を確認の上、冷凍シジミを年間90トン以上製造・販売することを目指す。また、全国規模のPR・販売イベントへ参加し、販路拡大を図る。</li> <li>・「冷凍シジミ」の品質を向上させるための講習会を開催し、シジミの死貝、空貝についての選別訓練を実施することで、選別技術の向上を図る。また、金属探知機やX線装置を活用し、異物混入のない「冷凍シジミ」の選別作</li> </ul>
--------------	---

	<p>業の効率化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、MELや「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、より一層シジミの資源管理、ブランド強化及び販路拡大に努める。</li> <li>・シジミ漁業者は県内水面研究所や県鮭ヶ沢水産事務所の協力を得て、十三湖のシジミ資源量調査や水質・底質調査、シジミラーバ調査を実施する。また、その結果を用いて、シジミの漁獲量を調整することにより適切な資源管理に努める。</li> <li>・漁業者と十三漁協による湖底耕耘作業や湖底清掃を実施し、湖内の環境保全に努める。</li> <li>・観光客向けにシジミ漁体験を実施し、「十三湖産大和しじみ」の販売促進に努める。</li> <li>・販売促進のため県内外のスーパーや生協での試食販売に積極的に参加し、東京都や新潟市、仙台市等への販路拡大を目指す。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	第1期浜プランに引き続き、船底清掃や1ノットの減速航行を実施して燃油等の削減を目指す。
活用する支援措置等	

5年目（平成35年） 「所得10%向上」

漁業収入向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの把握に努めつつ荷受業者等の意向を確認の上、冷凍シジミを年間100トン以上製造・販売することを目指す。また、全国規模のPR・販売イベントへ参加し、販路拡大を図る。</li> <li>・「冷凍シジミ」の品質を向上させるための講習会を開催し、シジミの死貝、空貝についての選別訓練を実施することで、選別技術の向上を図る。また、金属探知機やX線装置を活用し、異物混入のない「冷凍シジミ」の選別作業の効率化に努める。</li> <li>・水産資源と湖にやさしいシジミ漁業を推進し、MELや「十三湖産大和しじみ」の地理的表示登録を活用して、より一層シジミの資源管理、ブランド強化及び販路拡大に努める。</li> <li>・シジミ漁業者は県内水面研究所や県鮭ヶ沢水産事務所の協力を得て、十三湖のシジミ資源量調査や水質・底質調査、シジミラーバ調査を実施する。また、その結果を用いて、シジミの漁獲量を調整することにより適切な資源管理に努める。</li> <li>・漁業者と十三漁協による湖底耕耘作業や湖底清掃を実施し、湖内の環境保全に努める。</li> </ul>
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客向けにシジミ漁体験を実施し、「十三湖産大和しじみ」の販売促進に努める。</li> <li>・販売促進のため県内外のスーパーや生協での試食販売に積極的に参加し、東京都や新潟市、仙台市等への販路拡大を目指す。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	第1期浜プランに引き続き、船底清掃や1ノットの減速航行を実施して燃油等の削減を目指す。
活用する支援措置等	

#### (5) 関係機関との連携

<p>十三地区地域水産業再生委員会事務局である十三漁協を中心に、青森県農林水産部水産局水産振興課・総合販売戦略課、西北地域県民局地域農林水産部鮭ヶ沢水産事務所、五所川原市経済部農林水産課水産室・教育委員会、(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所・内水面研究所・食品総合研究所、青森県漁業協同組合連合会との連携を強化する。また、県内外の流通、販売業者等とも新たな連携を図る。</p>
---

## 4 目標

### (1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	平成25年～29年の5中3平均 : 漁業所得
	目標年	平成35年: 漁業所得

### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>対象漁業者全員の基準年の漁業所得について、平成25年から29年の十三漁協が発行する水揚証明書より5中3平均で算出。</p> <p>目標年の漁業所得の算出方法については、別添資料1を参照。</p>
--

### (3) 所得目標以外の成果目標

シジミの製造量	基準年	平成30年度: 50 t
	目標年	平成35年度: 100 t

### (4) 上記の算出方法及びその妥当性

算出方法については、別添資料1を参照。
---------------------

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性